



2022年3月期 上期決算説明会

2021年11月1日

NECネットワークスアイ株式会社

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

代表取締役執行役員社長

牛島 祐之

目 次

1. 上期実績概要
2. 通期業績見通し
3. 注力事業の状況

1. 上期実績概要

2022年3月期上期 業績サマリー

(単位：億円)

	21年3月期 上期	22年3月期 上期	前年同期 差/比	前回予想値 (7月29日)
受 注 高	1,779	1,659	△7%	1,650
売 上 高	1,512	1,410	△7%	1,470
売 上 総 利 益 率	16.6%	19.3%	+2.7pt	-
販売費および一般管理費	184	196	△12	-
営 業 利 益 (営業利益率)	67 (4.5%)	76 (5.4%)	+9 +0.9pt	87 (5.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	40 (2.6%)	47 (3.3%)	+7 +0.7pt	55 (3.7%)
フリー・キャッシュ・フロー	144	136	△8	

上期過去最高益を達成

● 受注高/売上高

(GIGAスクール/メガソーラー)

前期大型案件の反動等により減少も
注力事業(DX/通信)は順調に拡大

前期大型案件/孫会社非連結化の影響除き
受注高：+11%、売上高：+3%
受注残：+15%

● 営業利益/四半期純利益：

売上MIX改善や効率化効果が進展、
SG & A増※を吸収し増益

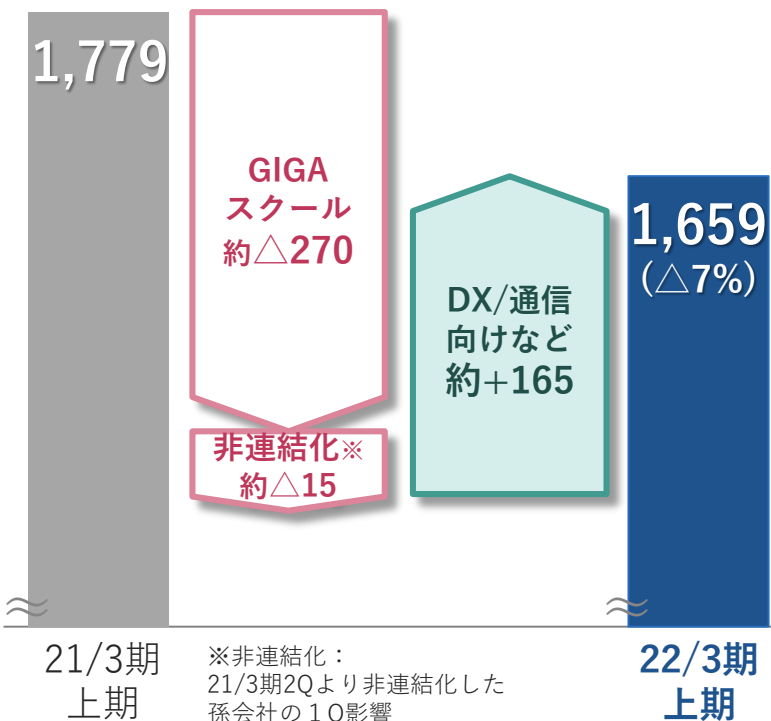
※新事業拡大に関わるリソース等の強化

受注高・売上高・営業利益 増減要因

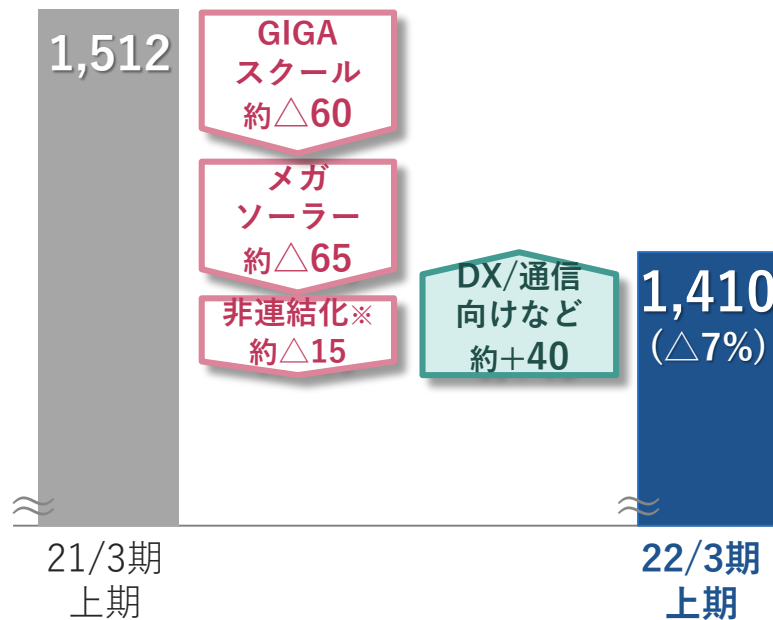
戦略は想定通りも、サービス化/半導体不足などが一時的に売上へ影響
売上MIX改善、効率化が進展、SG&A増を吸収し増益

受注高

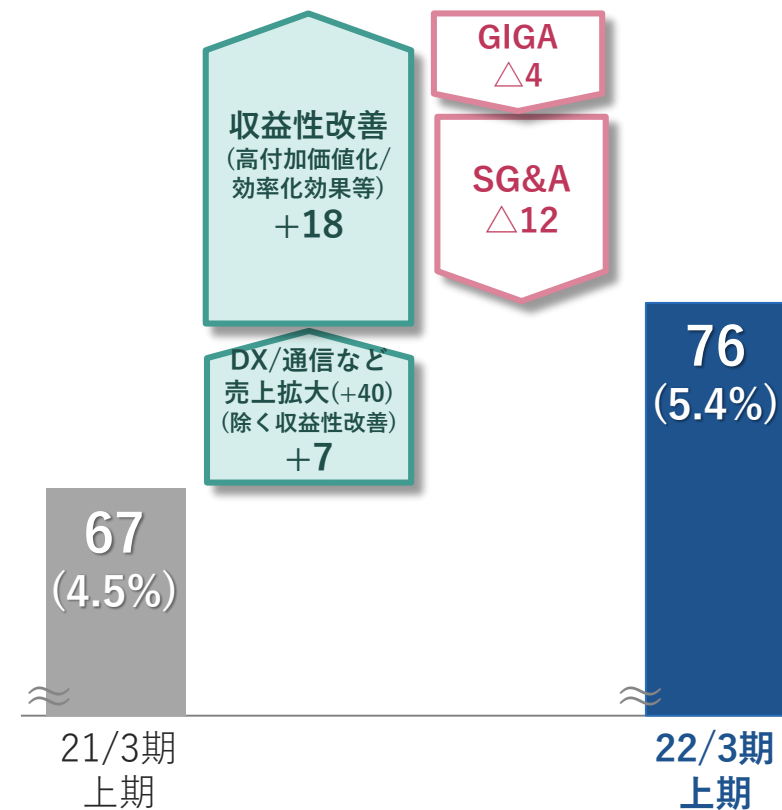
(単位：億円)



売上高



営業利益



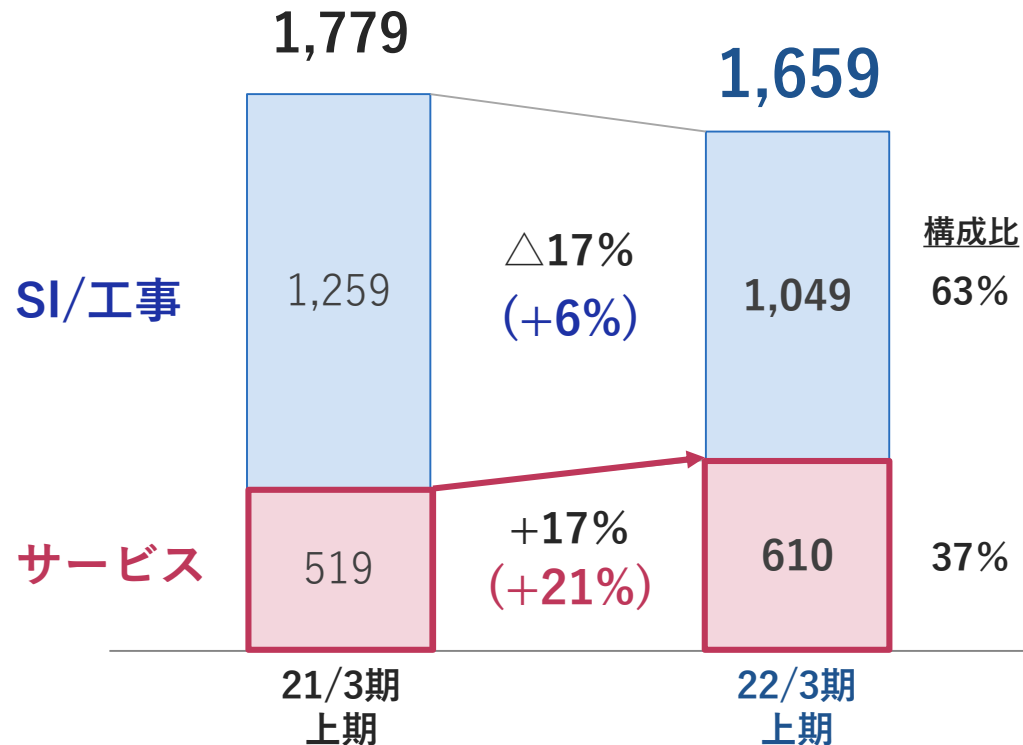
(参考) ビジネスモデル別受注高/売上高

ビジネスモデルの転換が進展し、サービス事業が拡大

受注高

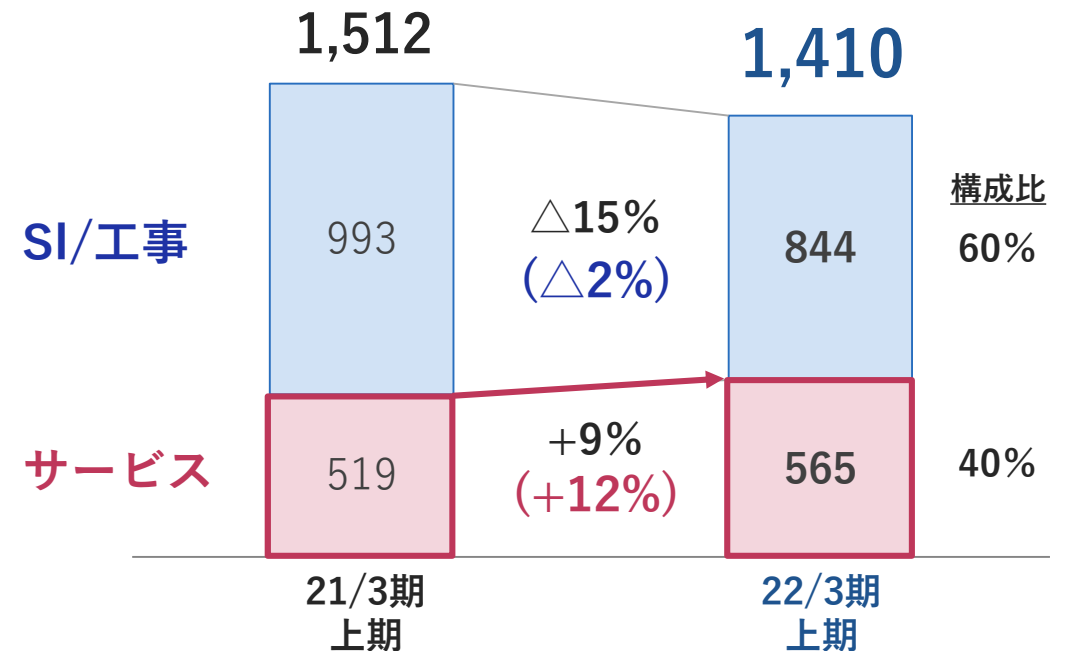
※()内は、前期大型案件/非連結化影響を考慮

(単位：億円)



売上高

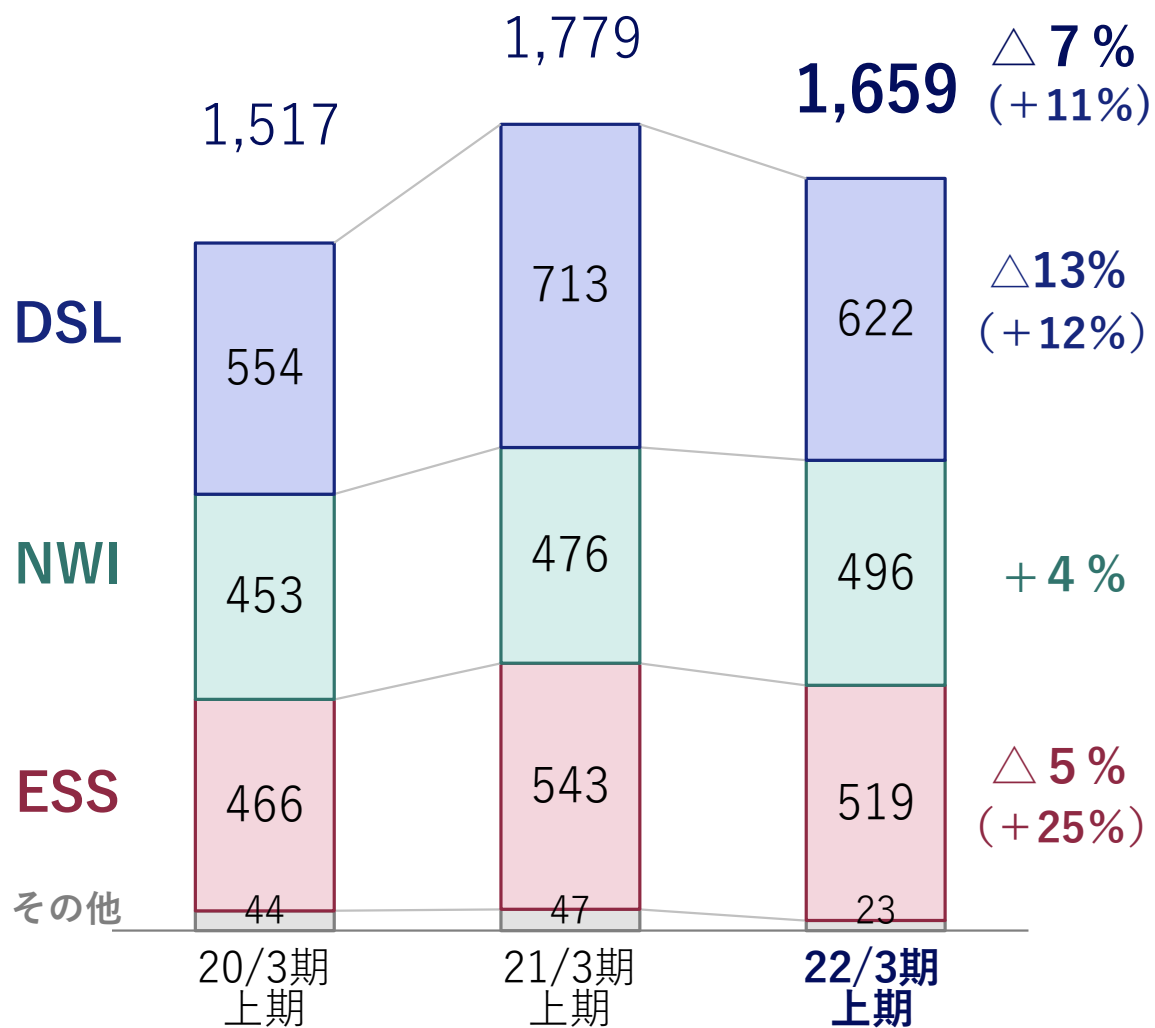
※()内は、前期大型案件/非連結化影響を考慮



2022年3月期上期 セグメント別受注高

(単位：億円)

()内は、GIGAスクール/
非連結化影響除く伸び率



デジタルソリューション(DSL)

- GIGAスクール、孫会社非連結化が影響
(約△140) (約△15)
- DX/働き方改革は好調(官庁・自治体DX拡大)

ネットワークインフラ(NWI)

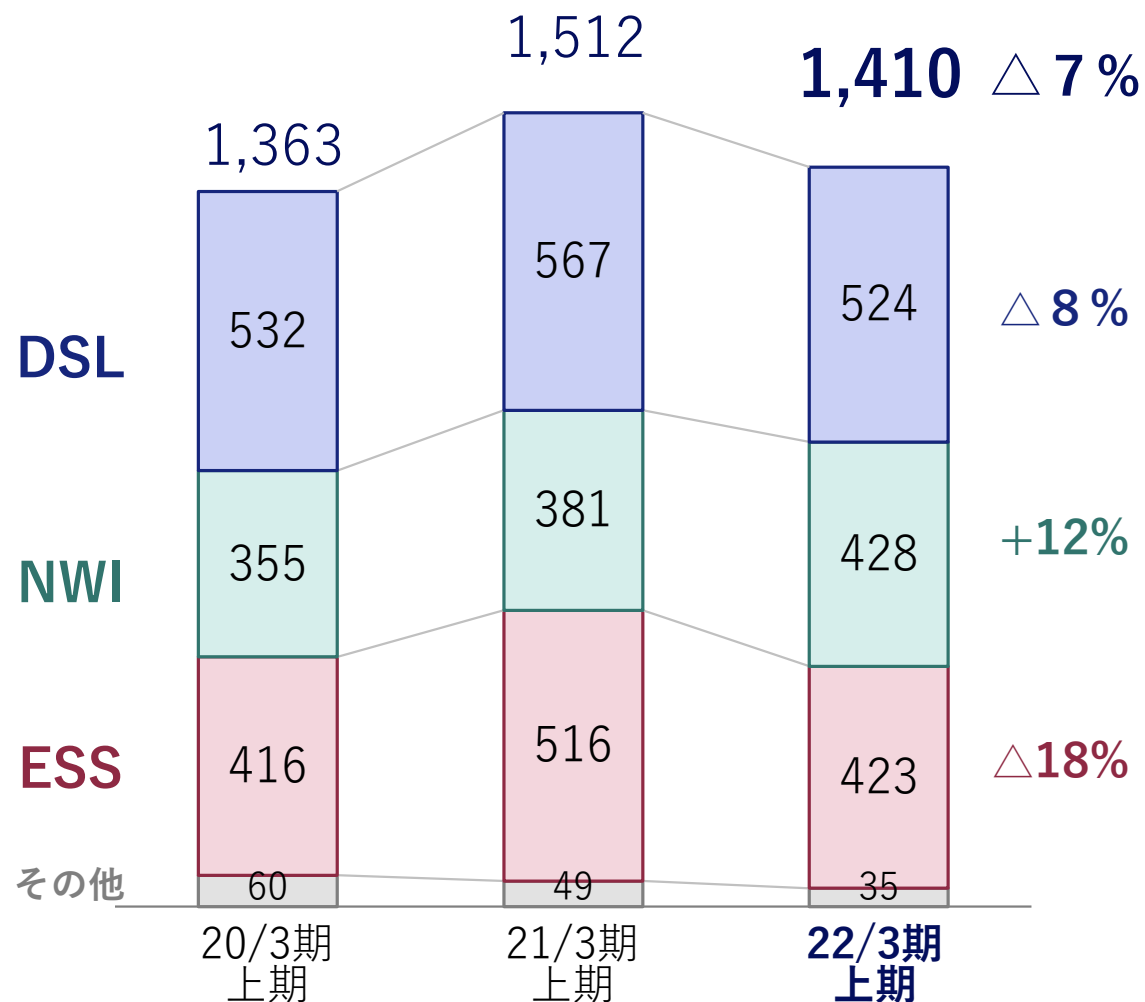
- 通信事業者向けが牽引
～戦略パートナー化が進展(KDDI、楽天)

エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

- GIGAスクールが影響(△約130)
- 国内施工事業が拡大(運輸/交通等)

2022年3月期上期 セグメント別売上高

(単位：億円)



デジタルソリューション(DSL)

- GIGAスクール、孫会社非連結化が影響
(約△10) (約△15)
- サービス化に伴いリードタイムが長期化

ネットワークインフラ(NWI)

- 通信事業者向けが牽引
・ 社会/公共分野も拡大

エンジニアリング＆サポートサービス(ESS)

- GIGAスクール、メガソーラーPJが影響
(約△50) (約△65)

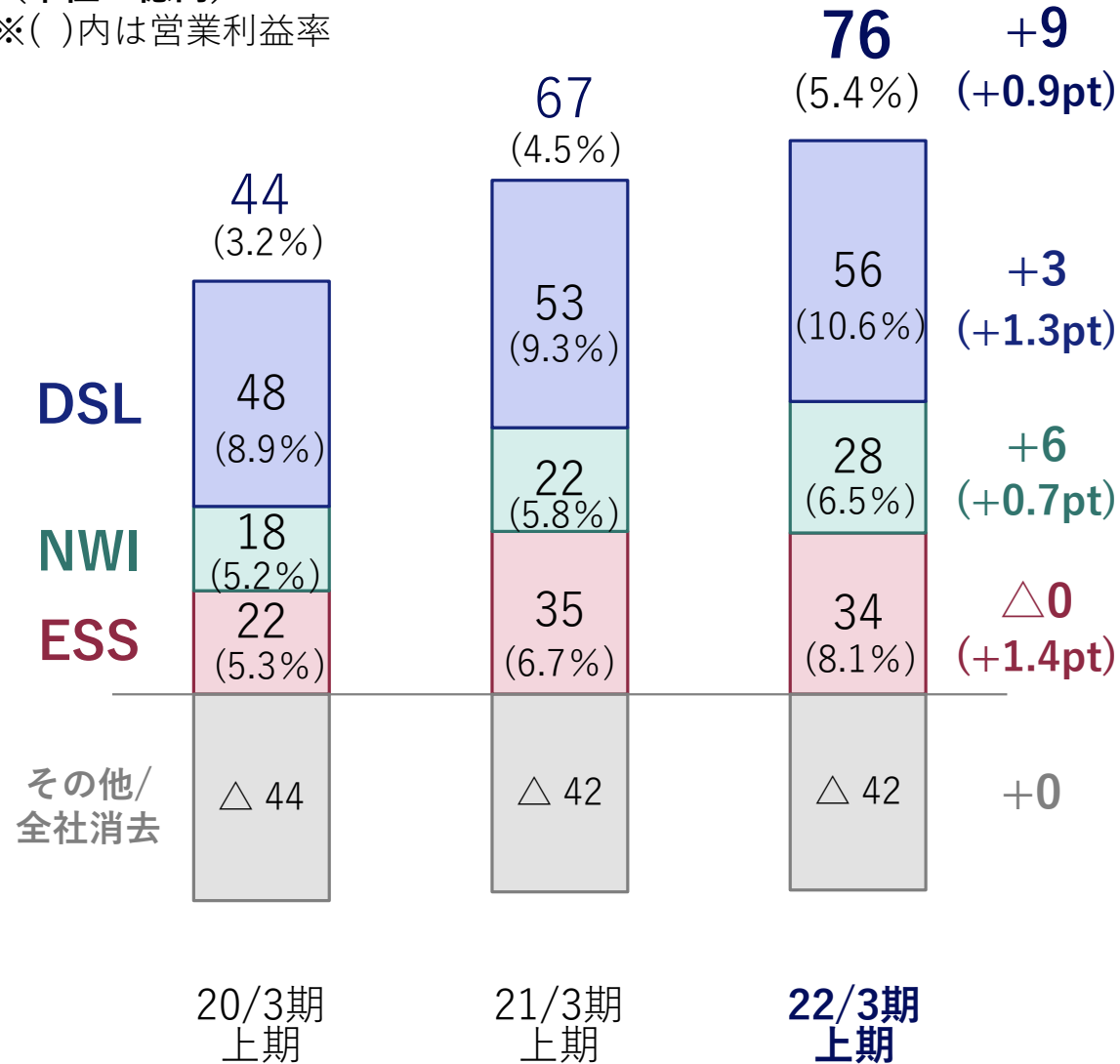
※上記影響除き +7%伸長

- 半導体影響が顕在化

2022年3月期上期 セグメント別営業利益

(単位：億円)

※()内は営業利益率



デジタルソリューション(DSL)

- 事業モデルの転換が進展し、収益性が改善 (サービス+SI 提供モデル)

ネットワークインフラ(NWI)

- 増収効果や売上MIXの改善により増益

エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

- 売上減の影響あるも
メガソーラー不採算改善で前年並み維持

2. 通期業績見通し

2022年3月期 通期 業績予想

(単位：億円)

	21年3月期 実績	22年3月期 予想	前期差/比
受 注 高	3,369	3,300	△2% ※(+8%)
売 上 高	3,391	3,200	△6% ※(+7%)
営 業 利 益 (営業利益率)	256 (7.5%)	260 (8.1%)	+ 4 +0.6pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (当期純利益率)	157 (4.6%)	160 (5.0%)	+3 +0.4pt

※受注高、売上高の前期比：

()内は、GIGAスクール/メガソーラー/孫会社非連結化の影響除く伸び率

期初予想に変更なし 売上MIX改善により持続的な成長へ

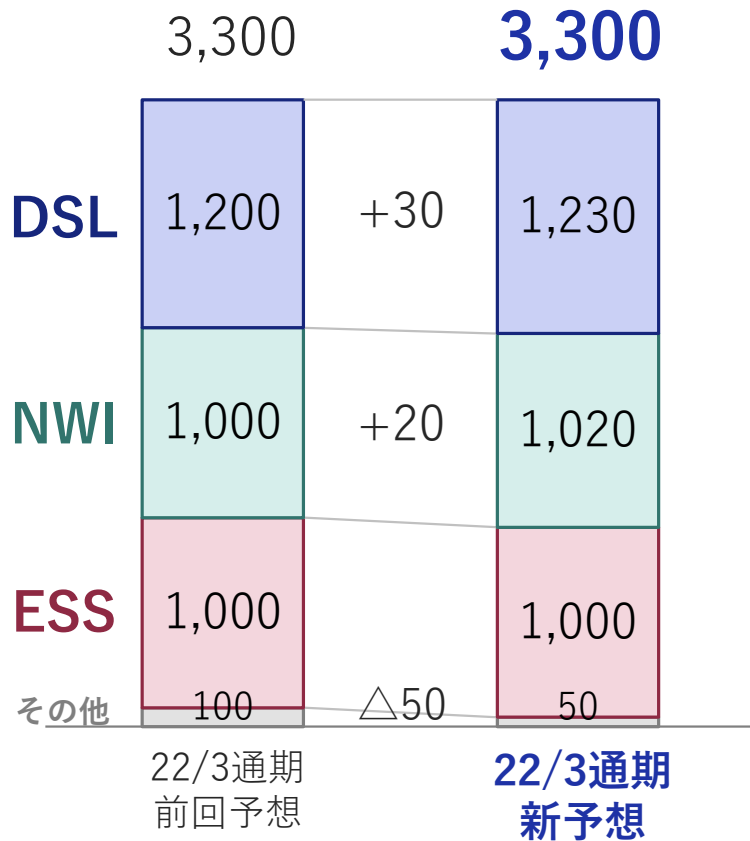
- 半導体影響は継続の懸念も、
好調な事業分野でカバー
 - ネットワークインフラ事業
- 新事業拡大への投資は継続
(リソース等の強化)

2022年3月期 通期 セグメント別業績予想

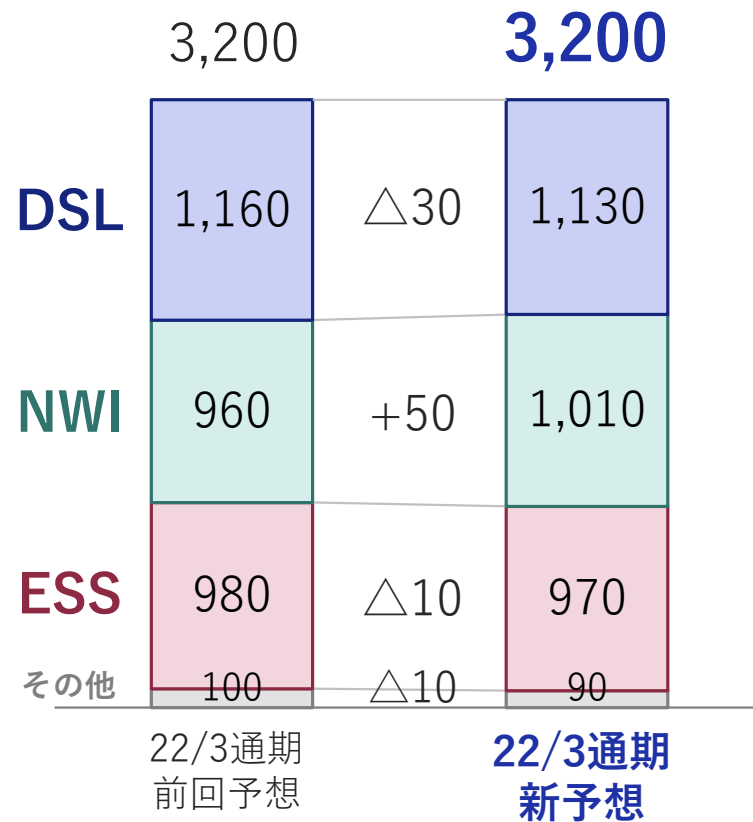
上期の進捗などを鑑み、セグメント別予想を修正

受注高

(単位：億円)

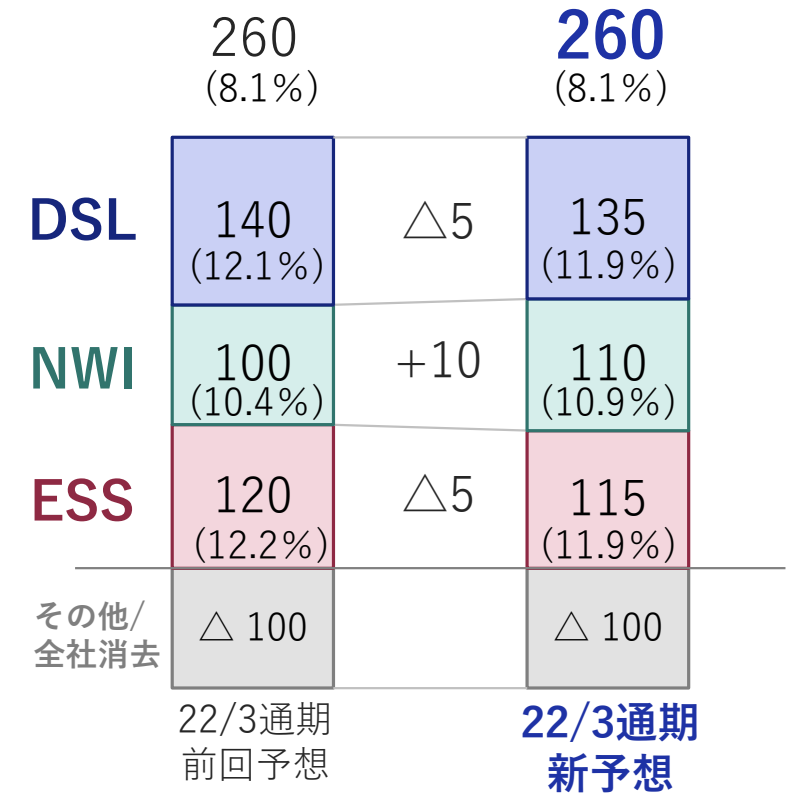


売上高

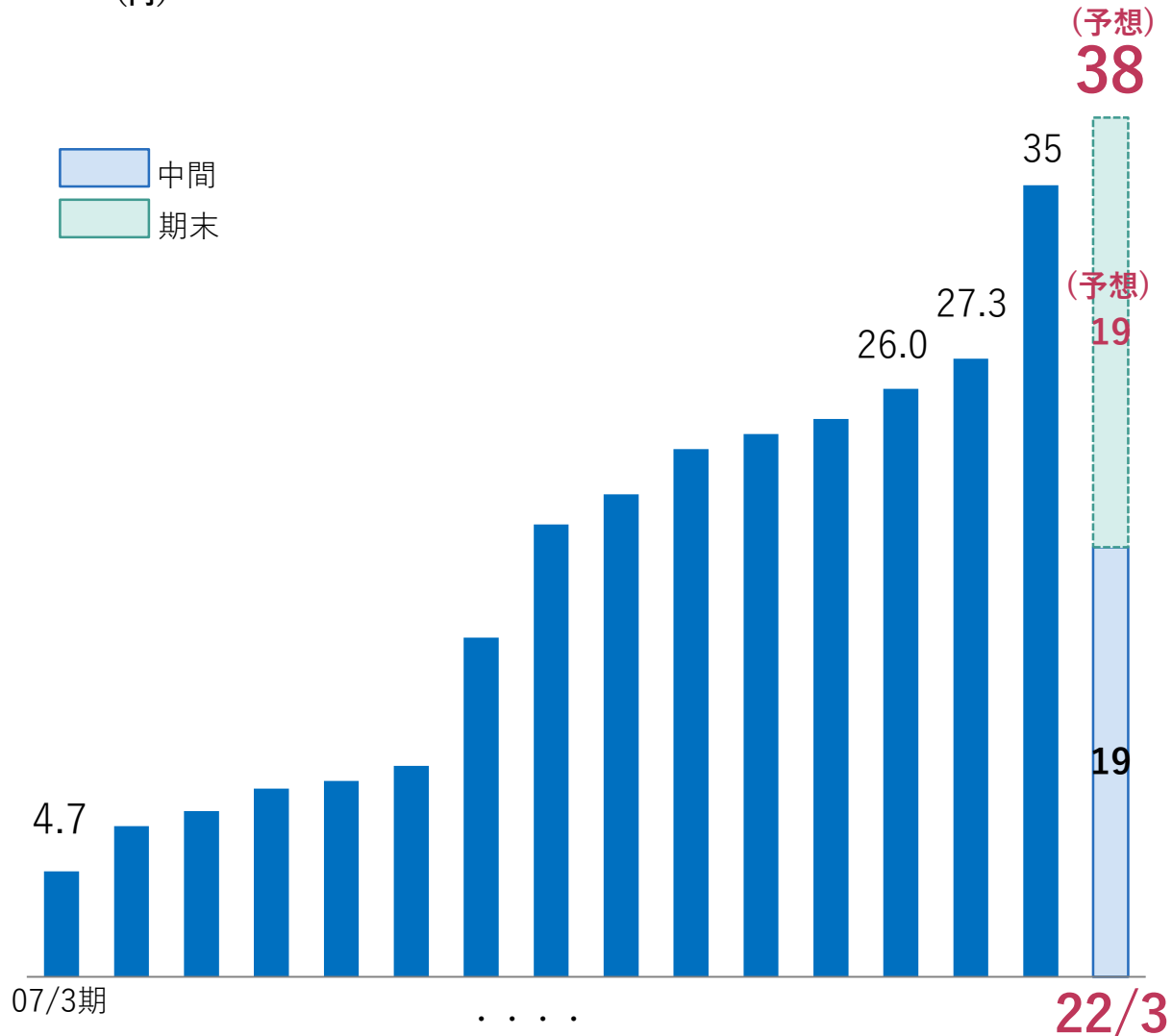


営業利益

※()内は営業利益率



中間
期末



DOE(自己資本配当率)を考慮

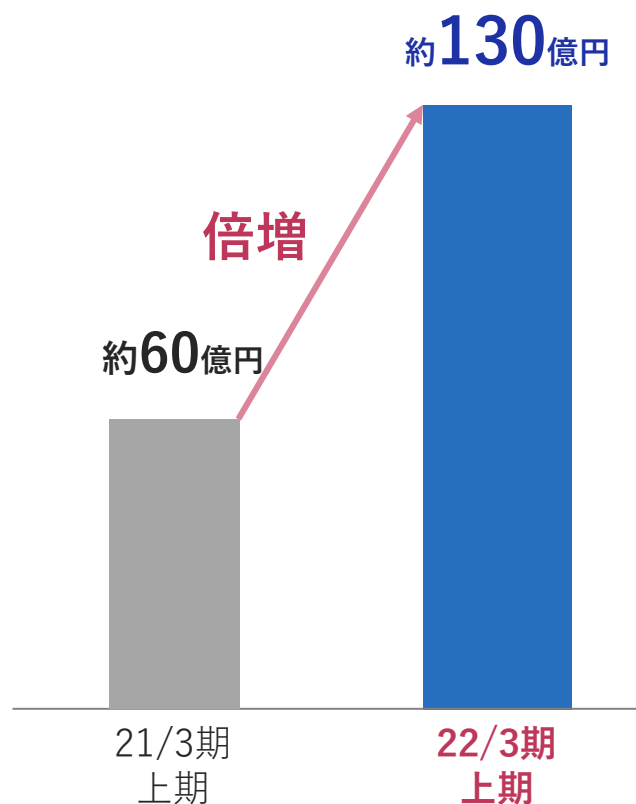
期末配当：当初計画通り

© NEC Networks & System Integration Corporation 2021

3.注力事業の進捗状況

注力事業の進捗：デジタル領域

DX関連受注高



新たな顧客層の拡大に成果

既存アセット※を活用し、官庁・自治体向けを拡大
(※DX/働き方改革実践ノウハウ、テレワーク環境構築)

上期実績

埼玉県庁、富山県庁、国税庁 など
(**テレワーク基盤、クラウドサービス**導入)

拡大施策

実績の横展開、市町村モデルの確立
自治体ネットワーク強靱化需要への取組み
(LGWAN-ASPサービス、テレワーク環境構築)

注力事業の進捗：デジタル領域（自治体DX受注事例）



お客様

埼玉県庁様

物件概要

県庁デジタルイゼーションツール導入

テレワーク、ペーパーレス、
庁内外のコミュニケーションを活性化する
マルチクラウド環境の構築、ライセンス提供

導入サービス

- ・ Webコミュニケーションツール
- ・ ペーパーレス支援ソフトウェア
- ・ ファイル管理システム
- ・ 認証サービス(IDaaS)

etc..

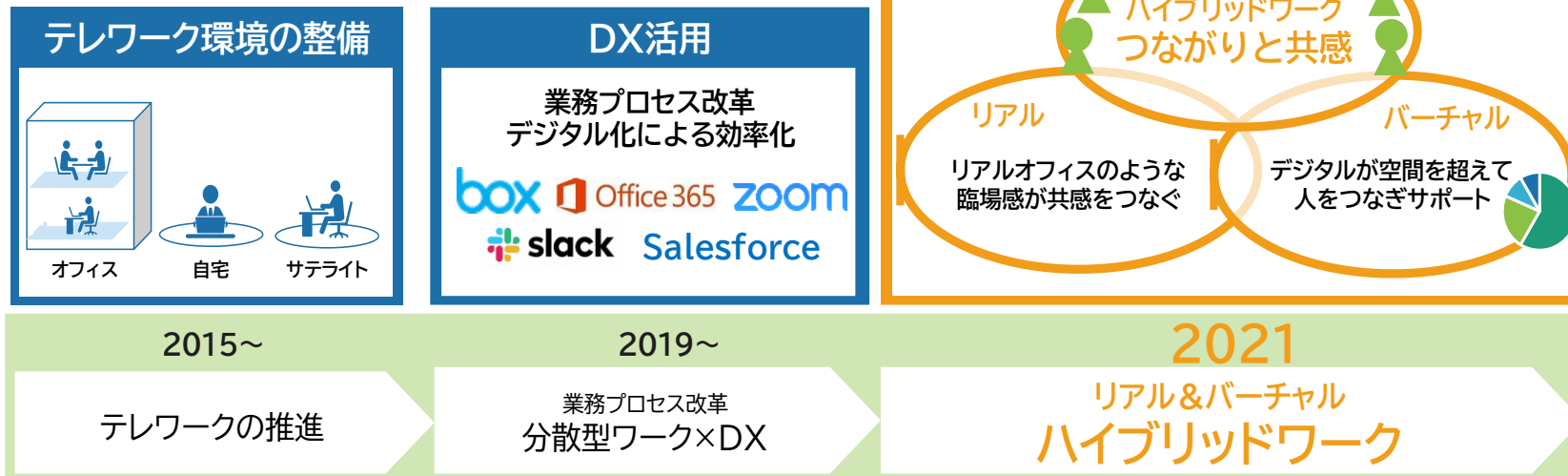
ポイント

当社のDX実践ノウハウや、
運用を考慮した提案を評価

注力事業の進捗：デジタル領域（新たな働き方への挑戦）

リアルとバーチャルを融合した新しい働き方を追求 （ハイブリッドワーク）

働き方をRe:デザイン



ハイブリットな 働き方の商材を拡充 例：One Globe Office



オフィスワーカー・テレワーカーを
グローバルでつなぎ、あたかも
同じ空間で働く環境を構築

成長戦略の進捗：5G領域

5G投資本格化に向けた準備は順調

キャリアインフラ

キャリア連携の強化 (戦略的パートナーとして)

- 既存アセットの活用による
顧客の深耕(楽天など)
- KNSI社※のポジション拡大
— 付加価値領域が牽引(KDDI)

前年同期比

売上高：約35%増

※KDDIとの合弁会社(K&Nシステムインテグレーションズ)

ローカル5G

実証実験を通じた 社会課題解決サービスの創出

- まちづくり領域が拡大
— 総務省「課題解決型 開発実証」
に複数採択(26件中3件)
- ローカル5G実証試験局
本免許取得(当社基盤技術センター)



事業基盤の強化

5G人材育成強化

- 基盤技術センター/5Gラボ活用

5G人材

300名超に拡大
(中計目標：400名規模)

※ビジネスパートナー含む

注力事業の進捗：5G領域（ローカル5G）



まちづくり領域で社会課題解決型サービスの創出を加速

令和3年度・総務省「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に3件採択

テーマ

実証内容



第一次産業の
生産性向上

山間部林業現場の
生産性/安全性向上

- ・遠隔操作による作業効率化
- ・高精細映像とAIによる作業員の安全管理 など



観光/防災

安全・安心
観光情報システム
(富士山地域)

- ・安心/安全モニタリング
- ・通報サービス
- ・人流解析 など



イベント活用

大型施設における
安心・安全な
イベント開催

- ・ポストコロナを見据えたイベント開催に向けた取り組み
- ・神奈川県横浜市で実証予定

最後に



Action!

変化や失敗を恐れずにどんどんイノベーションに挑戦し、
コミュニケーションで創る包括的で持続可能な社会の実現へ

APPENDIX

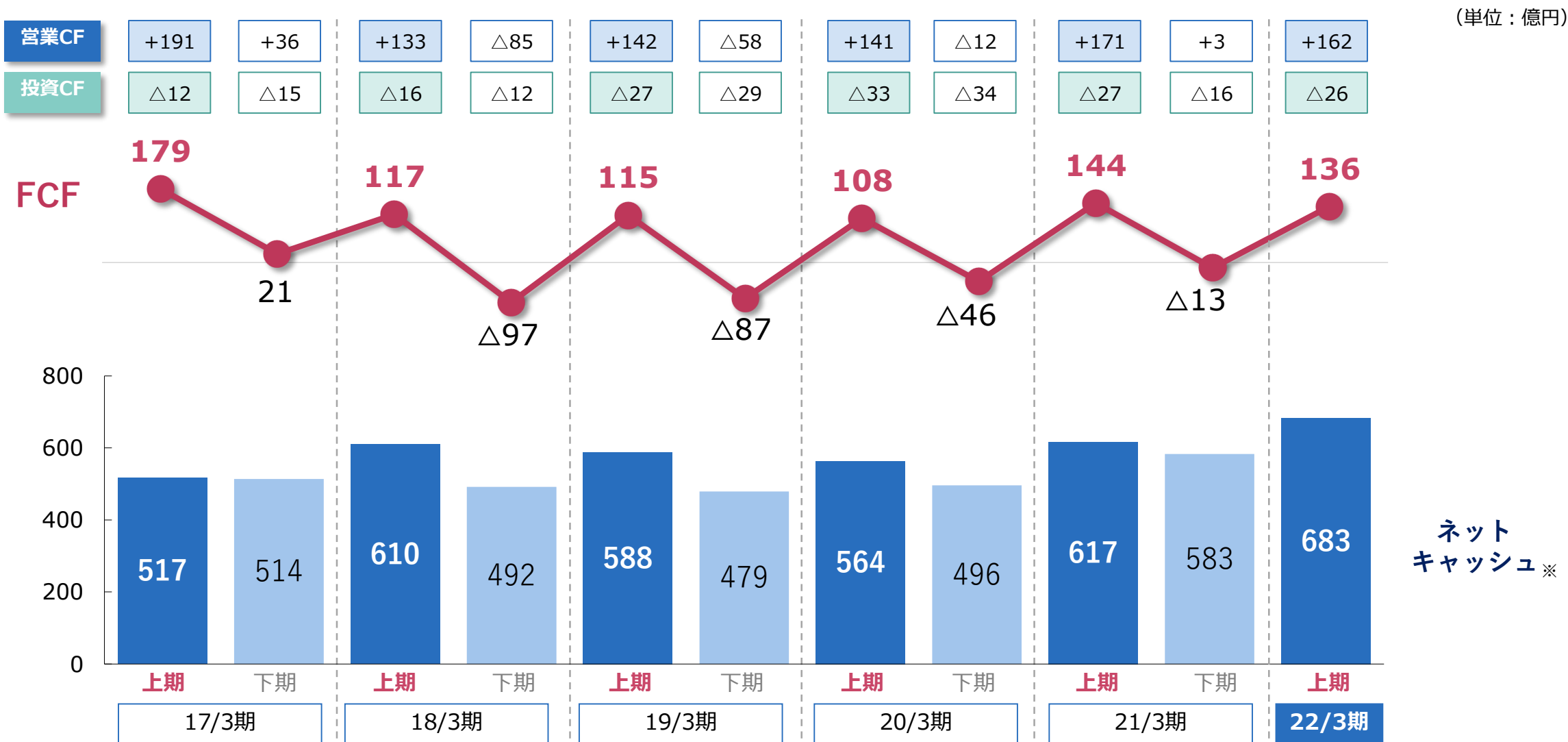
(参考)2022年3月期上期(21年9月末) バランスシート

(単位：億円)		21年3月末	21年9月末	増 減
	現金及び現金同等物	684	800	116
	受取手形、売掛金及び契約資産	1,246	947	△299
	たな卸資産	115	115	0
	その他流動資産	73	92	19
流動資産合計		2,118	1,954	△164
固定資産合計		385	400	15
資産合計		2,503	2,354	△149

	支払手形及び買掛金	468	333	△136
	借入金	101	117	16
	その他負債	663	606	△56
	負債合計	1,232	1,056	△176
	株主資本合計	1,261	1,277	16
	その他の包括利益累計額	△24	△17	7
	非支配株主持分	34	38	4
純資産合計		1,271	1,299	27
負債純資産合計		2,503	2,354	△149

自己資本比率		49.4%	53.5%	+4.1pt
--------	--	-------	-------	--------

(参考)2022年3月期上期 キャッシュフロー



※ネットキャッシュ＝現金および現金同等物（含む有価証券）－借入金



明日のコミュニケーションをデザインする

NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

2020年4月にセグメント間の事業移管等がありました。2020年3月期の実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ